

ふれあいから生まれる多様な「やきもの」の世界

ふれあうやきもの

2026年2月14日（土）～5月10日（日）東京都渋谷公園通りギャラリーにて開催

ふれあうやきもの

2026 2.14^{sat} (土) - 5.10^{sun} (日)

植田佳奈

大井康弘

七理摩弓

土橋美穂

西村妙子

八耳慶哲

吉成洋平

YOSHINAKI Yohpei



東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery



東京都渋谷公園通りギャラリーでは、2026年2月14日（土）から5月10日（日）まで、「ふれあうやきもの」展を開催いたします。個性豊かな「やきもの」が集結し、特別映像の限定公開や出展作家の公開制作なども行います。

展覧会概要

日本のやきものの歴史は縄文土器にはじまり、時代の移り変わりとともに各地で多様な発展を遂げてきました。やきものの素材となる粘土は、作り手の思いを受け止め、自在にその形を変えることができます。粘土は自由な造形に適していることから、福祉施設での創作活動にも取り入れられてきました。

本展は、国内の4つの福祉施設で「やきもの」の制作に様々な形で関わる7名の作り手による作品を紹介する展覧会です。本展では、作品の魅力を2つの視点から探ります。



一つ目の視点「粘土とふれあう」では、心に描くイメージを立体的な形に表現する過程に着目。自然物のような質感を追求する植田佳奈、動物の生命力と愛らしさを表現する土橋美穂、感覚と記憶をかたどる八耳慶哲など、7作家それぞれの特徴的な造形の魅力に迫ります。



二つ目の視点「人とふれあう」では、4つの創作現場での記録映像等を通して、やきものが人々をゆるやかに繋げる場を生み出し、それぞれの作り手に新たな関係性や創作意欲をもたらす様子を紹介。土を中心に人が集い、形をつくる中で育まれる、言葉による対話とは異なる形のコミュニケーションが浮かび上がります。

本展が、やきものの新たな魅力と、創作の場における多様な人々のふれあいを知る機会となれば幸いです。

このリリースにかかるお問い合わせ／取材お申し込み

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 文化共生課

Tel : 03-5422-3151

Fax : 03-3464-5241

E-mail : pr-skdg@mot-art.jp

展覧会の見どころ



1. 心に描くイメージを自在に映し出す、個性豊かな「やきもの」が集結

福祉施設のアトリエで創作を行う 5 名の作家と、その創作活動をサポートする 2 名の陶芸家の作品 62 件（うち陶芸作品 57 件、絵画 5 件）を紹介。花瓶や壺のように用途を持つ器から、「ガネーシャ」や動物の姿をかたどった作品、オブジェ的な造形作品まで、多様な陶芸作品が集結します。

2. やきものから生まれる人のふれあいを描く特別映像を限定公開

作家やかれらをサポートする方々へのインタビューや、それぞれの作品の制作過程を、本展のために新たに撮影。作品制作の秘密と、やきものが生み出す人とのふれあいを映像でご紹介します。会期期間中のみの限定公開となります。

3. 創作の現場に立ち会える公開制作や、さわれる作品を展示

出展作家の植田佳奈による公開制作を交流スペースで開催。象嵌の技法を用いて、作品の表面に多彩な質感を生み出す植田佳奈の創作の現場に立ち会うことができます。出展作家や関係者によるアーティスト・トークも開催。このほか交流スペースでは植田佳奈と吉成洋平のさわれる作品も展示します。

アクセシビリティに関する取り組みとして、「手話による展覧会案内動画」を会場内で公開予定。また、当ギャラリーで活動する鑑賞サポーターによる鑑賞会なども予定しております。



出展作家紹介



図版① 植田佳奈《象嵌石ころ》2024 年、作家蔵

植田佳奈 UEDA Kana

1992 年生まれ。2015 年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科陶磁専攻卒業。粘土に線や点を刻み入れる過程で偶然生まれる形や質感に導かれ、自然の営みを感じさせる作品を制作している。自然物の観察と、素材の実験を繰り返しながら、陶による新たな表現を試みている。また、福祉施設「8-18」に通う方々と共に絵画や陶芸も行う。主な展示に「石をみる」（2024 年、東京、ROUND ROBIN）などがある。



図版② 大井康弘《ガネーシャ》2013 年、やまびこ福祉会蔵 撮影：大西暢夫
提供：ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

大井康弘 Oi Yasuhiro

1983 年生まれ。創作ヴィレッジこるり村（滋賀県）に所属し、陶芸作品とコラージュを制作している。陶芸では、芯材の上に、あらかじめ用意した粘土のパーツを繰り返し積み重ねていくことで、ガネーシャやイノシシなどを表現している。細かいパーツに分解されたモチーフは、大井の手によって再構成されて新たな形に生まれ変わる。主な展示に「HELLO 開眼」（2017 年、滋賀、ボーダレス・アートミュージアム NO-MA）などがある。



図版③ 七理摩弓 《総銀彩 vase》2025 年、作家蔵

七理摩弓 SHICHIRI Mayumi

1985 年生まれ。2007 年京都造形芸術大学美術・工芸学科陶芸コース卒業。陶によるインスタレーションやオブジェなど、多岐にわたる作品の制作を経て、現在は古陶磁や青銅器等に着想を得た器を中心に制作している。南山城学園（京都府）が運営する障害者支援施設内にあるアトリエの担当としても活動している。主な展示に「京都工芸ビエンナーレ」（2010 年、京都、京都文化博物館）などがある。



図版④ 土橋美穂 《アリクイ》2020 年、nullus 蔵

土橋美穂 TSUCHIHASHI Miho

1971 年生まれ。福祉施設「8-1 8(はちいちはち)」（神奈川県）に所属し、陶芸・絵画・縫いぐるみの制作などの創作活動を行っている。陶芸では、アリクイ、キリン、象などの動物をモチーフとした作品を制作している。それぞれの動物の特徴を捉えつつ、物語性を感じる作品を生み出している。主な展示に、第 5 回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」（2022 年、東京、Bunkamura Gallery / Wall Gallery ほか）などがある。



図版⑤ 西村妙子 《無題》制作年不詳、南山城学園 円蔵

西村妙子 NISHIMURA Taeko

1963 年生まれ、2024 年没。南山城学園 円（京都府）に所属し、粘土による制作を行っていた。机の上に置かれた粘土の表面を指で彫り、指先で軽く捏ねた後、床に落とすという行為を繰り返した。表面に彫る部分が無くなると、粘土の塊全体を床に落とすこともあった。粘土と対話した時間の痕跡が、やきものとして一つの形になっている。主な展示に、「南山城学園の粘土室」（2023 年、京都、art space co-jin）がある。



図版⑥ 八耳慶哲 《無題》2022 年、やまびこ福祉会蔵
提供：やまびこ福祉会

八耳慶哲 YATSUMIMI Yoshiaki

1981 年生まれ、2024 年没。やまびこ作業所（滋賀県）に所属し、闘病を続けながら陶芸作品を制作した。全盲の八耳は、手のひらの感覚を頼りに、紐状に伸ばした粘土を積み重ね、作品を作り上げた。病状が進行し、制作を続けることが難しくなったが、体力が持つ 2 時間を開催期間として、2024 年 11 月に展覧会「again,」を開催した。主な展示に「やまびこ展」（2024 年、滋賀、竜王町公民館）がある。

吉成洋平 YOSHINARI Yohei

1986 年生まれ。障害者支援施設ひばり（栃木県）に所属し、絵画と陶芸の制作を続けている。陶芸では、粘土を紐状に成形し、それを幾重にも積み上げて立体化していく。積み上げた粘土から、波のようなうねりが生まれ、躍動感のある形態が完成する。作品名は、嬉しい時や気持ちが高ぶった時に出る本人の言葉からつけられることもある。主な展示に、「Art to You! 障がい者芸術世界展 IN SENDAI 2024」（2024 年、宮城、せんだいメディアテーク）などがある。



図版⑦ 吉成洋平 《ん〜ん〜ん〜》2023 年、作家蔵

展覧会概要

展覧会名 ふれあうやきもの

会 期 2026年2月14日(土) - 5月10日(日)

開館時間 11:00-19:00

休館日 月曜日(2/23、5/4は開館)、2/24、5/7

会 場 東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室1・2、交流スペース
(東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F)

入場料 無 料

出展作家 植田佳奈、大井康弘、七理摩弓、土橋美穂、西村妙子、八耳慶哲、吉成洋平(五十音順)

グラフィック・デザイン 前原翔一、小山麻子

主 催 東京都渋谷公園通りギャラリー(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

展覧会ウェブサイト <https://inclusion-art.jp/s/yakimono>

問い合わせ inclusion@mot-art.jp



*開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

関連イベント

① 担当学芸員によるギャラリートーク(手話通訳付き)

2026年2月28日(土) 14:00 - 15:00 [申込不要]

担当学芸員が展示室をめぐりながら作家や作品についてお話しします。

② 植田佳奈 公開制作

2026年3月29日(日) 14:00 - 17:00 [申込不要]

出展作家の植田佳奈が当ギャラリー内交流スペースにて公開制作を行います。同日に作家によるトークも予定。

上記イベントのほか、アーティスト・トークを予定しております。

詳細は当ギャラリーウェブサイトをご確認ください。



図版⑧ 展覧会ポスター画像

■東京都渋谷公園通りギャラリーとは

東京都渋谷公園通りギャラリーは、アートを通してダイバーシティの理解促進や包容力のある共生社会の実現に寄与するために、アール・ブリュット等をはじめとするさまざまな作品の展示等により、一人ひとりの多様な創造性や新たな価値観に人々が触れる機会を創出します。

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館 1F

開館時間: 11:00 - 19:00

休館日: 月曜日(祝休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、展示替え期間

電話: 03-5422-3151 FAX: 03-3464-5241 メール: inclusion@mot-art.jp



東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

E-mail : pr-skdg@mot-art.jp Fax : 03-3464-5241

取材および広報用画像について

本展覧会の取材を希望される場合は、本紙に必要な事項をご記入の上、EメールまたはFAXにてお申し込みください。
また、このリリースに掲載されている画像①～⑧をデータにてご用意しております。画像を希望される場合は、希望画像の番号（ここに掲載されてない画像も相談可）をご記入の上、広報担当までご連絡ください。

☐ 取材希望

☐ 画像使用希望

取 材 希 望 日 時 :	
使 用 希 望 画 像 :	
貴 社 名 :	
貴 媒 体 名 :	
種 別 :	T V ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー WEB その他 ()
掲載・放送予定日:	
ご 担 当 者 名 :	
Eメールアドレス:	
ご 住 所 :	(〒)
お 電 話 番 号 :	
F A X :	
そ の 他 :	

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

- ・ 作品画像を掲載する際は、当該作品のクレジット（作家名・作品名・制作年・所蔵・提供）を必ず明記してください。
- ・ 掲載画像のトリミング、文字載せはお控えください。
- ・ 記事掲載・放送日が決まりましたら、事前にご連絡ください。併せて、掲載内容もお知らせいただけますと幸いです。